

# 釜石労働基準監督署からのお知らせ

令和4年  
12月

## 1 釜石支部主要企業訪問

取材協力：公益財団法人岩手労働基準協会釜石支部

11月8日に株式会社ワイ・デー・ケー東北工場、有限会社多田工務店を訪問しました。

### 株式会社ワイ・デー・ケー東北工場

#### 社内イベントの実施

社員が主体となって、バラエティ豊かなイベントを開催しています。

新入社員の初給与をメモリアルにする

ため、新入社員の家族を招いて「初給与式」を開催し、前年度の新入社員から襷の受け継ぎを行う「襷渡し式」も併せて行っています。



#### 職場環境を明るく

工場操業50周年の節目を迎え、従業員が毎日多くの時間を過ごす職場を居心地の良い空間にリフォームしています。女性メンバーが中心となりチームを結成して、イメージが決まり次第、業者と協議して作り上げています。入口から廊下右側に延びる企業カラーの緑線、思わず右側通行？の目印となっていました。



#### 救命講習会の実施

遠野消防署の職員を招聘し、安全衛生委員会のメンバーが中心となり「普通救命講習」を実施し、AEDの取扱、心肺蘇生法、止血の仕方、異物除去の仕方などを学習しています。

また、工場では、頭部を強打した事案を踏まえて、作業員全員に布製帽子の中にプラスチック製のインナーを着用し、頭部の保護を図っています。



### 有限会社多田工務店

#### ヒートベスト等の作業員全員配付

屋外で働く建設作業員が、寒い冬に少しでも怪我無く快適に作業するため、作業員の希望を取った結果、

バッテリーで発熱するヒーターを内蔵したベストを希望者全員に配付しています。また、夏は、電動ファン式のベストも全員に配付しており、バッテリーを共通化することで費用の支出も抑えています。また、作業服は毎年夏冬用各一着、防寒着も毎年配付しています。ヘルメットは3年を目安に交換し、今は目を保護するシールド付きを使用しています。



#### 高齢労働者対策

技能実習生が約20人在籍(比較的若い)し、高齢労働者とペアすることで、重量物の運搬をフォローし合っています。

#### 社内報「TK PLUS/TK TIME」を毎月発行

数年前から、社内の作業員のコミュニケーションツールとして社内報「TK PLUS/TK TIME」を毎月、社長自ら作成しています。A3両面3～4枚の分量で、「災害事例の紹介」や「作業上の留意点」の災害防止の記事はもちろん、「現場の紹介」「個人表彰・資格取得」「各作業員の紹介」「先輩・後輩の記事」「クイズ」など内容を充実しています。自宅周辺の草刈り作業のための刈り払い機の使い方とも掲載し、プライベートでの怪我の防止にも気を配っています。



さらに、下請けなど取引企業に対しても、在籍する作業員の人数分増刷し、配付もしています。



## 2 「令和4年度 労働災害防止団体等担当者会議」開催

令和4年11月22日(火)に「令和4年度労働災害防止団体等担当者会議」を開催し、釜石監督署管内の災害防止団体等の事務局長様をはじめ多くの方に御出席いただき、

「いわて年末年始無災害運動」の活動内容を共有しました。

年末年始は、慌ただしさに加え、凍結、積雪等の自然要因も加わり、労働災害のリスクが高まる時季です。毎年、運動期間中に発生する転倒災害の約6割、交通労働災害の約5割が凍結路面での転倒、車両のスリップ事故など冬季特有要因による労働災害です。

特に、冬季シーズンの初の「まとまった積雪」や「急に冷え込む朝方」に発生しています。翌日にまとまった積雪が予想されるときや翌日に氷点下に一気に冷え込むときには、終業時刻までにタイムカード機のところなど目立つところに「明日は大雪です、自宅を少し早めに出ましょう!」と掲示したり、構内放送で繰り返し注意喚起するなど組織的に啓発活動を行うこととしました。



令和4年11月22日

労働災害防止団体等の長 殿

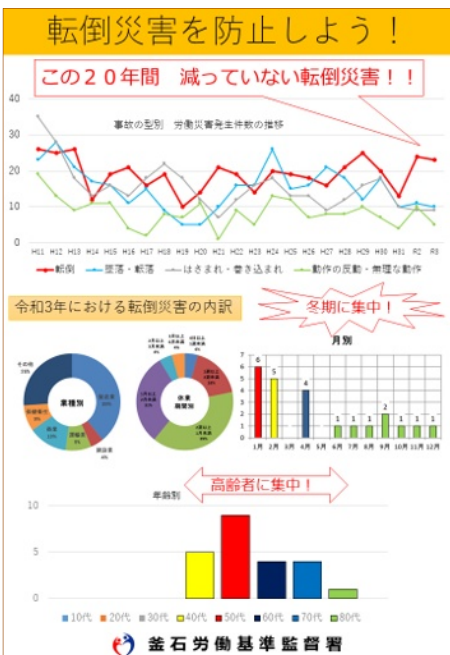
釜石労働基準監督署長

「いわて年末年始無災害運動」に係る重点取組について

当署の行政の推進につきましては、日頃から特段の御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度におきましても12月1日から1月31日までの2か月間、「いわて年末年始無災害運動」を展開し、労働災害の根絶に向けた取組を行うこととしています。

各事業場の実施事項は、積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止、車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止、火災・火傷の防止、作業時の保温・体操の実施等ですが、労働災害発生状況から令和4年度の当署の重点取組事項を別添のとおり定めましたので、傘下の会員事業者に周知の上、積極的な取組に御協力をお願いします。



**冬季の転倒防止対策**

- 大雪、強風に関する気象情報を関係者への周知
- 寒気対策に応じた出勤、作業計画等の見直し
- 屋外道路や駐車場における除雪
- 踏切側の配布による安全確保の確保

**明日は-5℃!**  
防寒着を身につけて通勤しよう!

**明日は-10℃!**  
防寒着を身につけて通勤しよう!

**明日は大雪!**  
通勤を中止して出勤

**屋内の転倒防止対策**

- 出入口などの滑りやすい場所滑動防止措置
- 段差の撤去もしくは「足元注意」の掲示
- 床の油汚れや床面が水などで濡れた際の速やかな除去
- 転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成

**転倒等リスク評価セルフチェック表**

釜石労働基準監督署

**「いわて年末年始無災害運動」重点取組**

釜石監督署管内の月別労働災害を比較すると、令和4年1月が他の月の2倍以上発生します。その多くが雪上や氷上での転倒など冬季特有災害です。

特に、冬季シーズンの初の「まとまった積雪」や「急に冷え込む朝方」に発生しており、冬季シーズンの生活に一旦慣れれば、労働災害は落ちています。

そこで、今年度の「いわて年末年始無災害運動」の釜石監督署独自の重点取組を以下のとおりとし、実施することとしました。

**どんな時に**

- 翌日にまとまった積雪が予想されるとき  
※ 各事業場で20cm以上、30cm以上などの目安を作るとよい。
- 翌日に氷点下に一気に冷え込むとき  
※ 各事業場で12月は-5℃以下、1月・2月は-10℃以下などの目安を作るとよい。

**どのように周知・啓発する?**

- 終業時刻までにタイムカード機のところに掲示する。  
※ 「明日は大雪です、自宅を少し早めに出ましょう!」「明日は-5℃低、自宅を少し早めに出て、安全運転で!」など。(裏面参照)
- 構内放送で繰り返し注意喚起する。
- デジタルサルネーシ掲示板で繰り返し注意喚起する。 など

厚生労働省 岩手労働局 釜石労働基準監督署

## 3 労働災害発生状況

【令和4年10月末現在 (前年同期と比較して27件(42.2%)の増加)】

休業4日以上労働災害 91件(コロナ12件含む)(前年同期64件(同1件))

死亡災害 2件(同0件)

### 【10月発生災害事例】

被災者が、手押しでロールボックスを運ぶ作業をしていた近くで、フォークリフトでも他のロールボックスを運んでいたところ、被災者の存在に気付かず、二つのロールボックスの間に被災者が挟まれ、左脛骨を骨折し休業見込み45日となった。

フォークリフトと作業員との作業範囲を明確に区分すること。